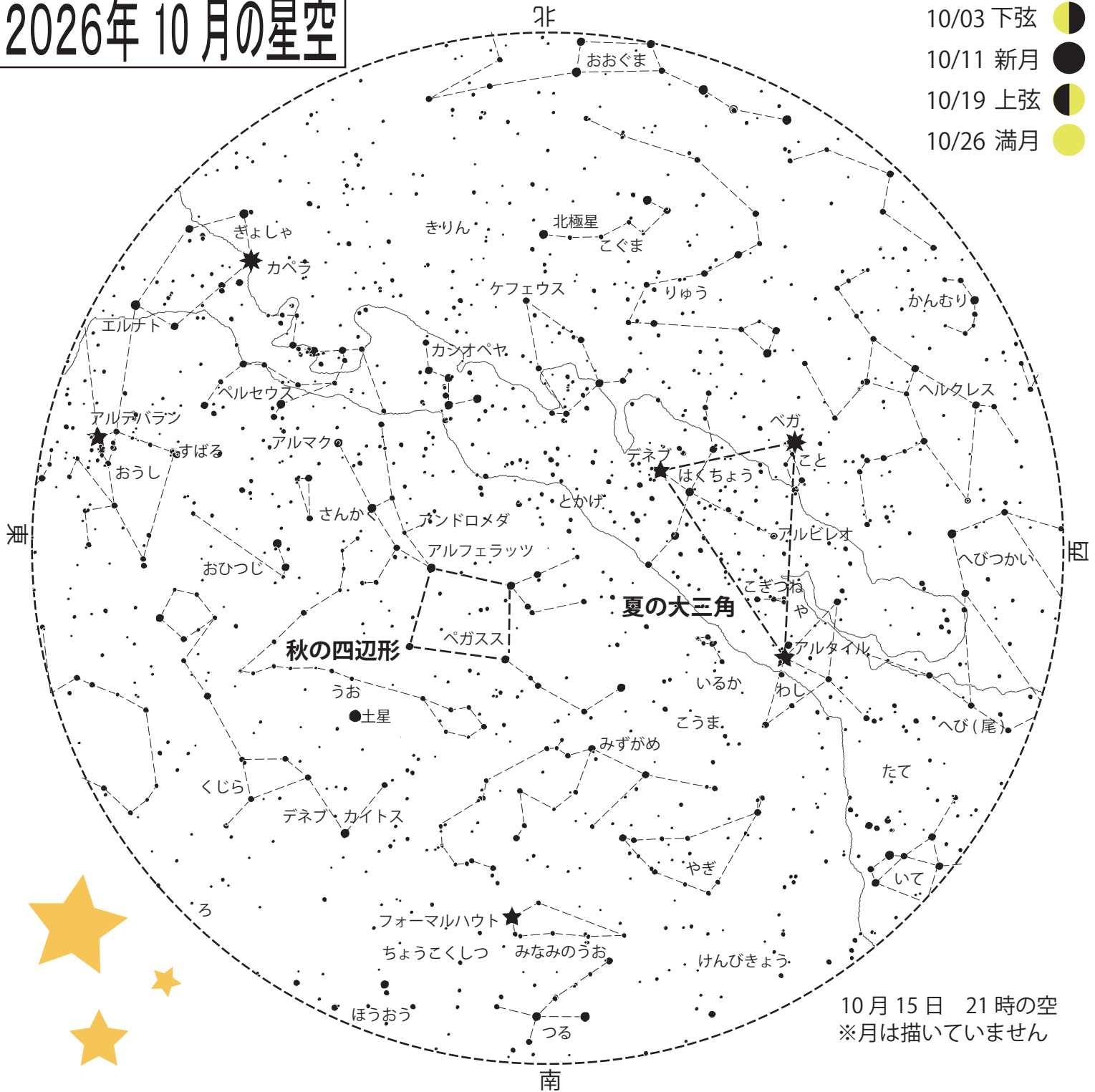


姫路で見る 2026年10月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

10/03 下弦 
10/11 新月 
10/19 上弦 
10/26 満月 



10月15日 21時の空
※月は描いていません

夜のはじめの頃、天頂近くから西の空にかけて夏の星座がまだ姿をとどめています。**夏の大三角**は西の空に横たわり、真ん中を**天の川**が流れています。その両側には**こと座**の**ベガ**(七夕の織姫星)と、**わし座**の**アルタイル**(彦星)が輝き、天の川の中では**はくちょう座**が優雅な翼を広げています。東の空には**秋の四辺形**を中心とした**アンドロメダ座**、**ペガサス座**、**うお座**、**くじら座**、**みずがめ座**、**みなみのうお座**など秋の星座たちが勢ぞろいしています。

夜遅くになると秋の星座たちは南に移り、代わりに東の空には**おうし座**や**ぎょしゃ座**など、早くも冬の星座が顔を見せます。**おうし座**の右目で橙色に明るく光る一等星が**アルデバラン**です。「後に続くもの」という意味で、**すばる**として親しまれている**プレアデス星団**を追うようにのぼってきます。

土星は明るさ 0.3 等から 0.5 等で**くじら座**のあたりを西に移動し、10月中は一晩中観察できるようになります。**土星**には、**月**が10月24日に接近します。